

市民福祉部長の仕事宣言！

市民福祉部長 篠原 久子

1 基本姿勢（部の運営方針）

子どもから高齢者までのすべての世代、また、障害のある方、外国人住民などすべての人がいきいきと生きがいを持って、住み慣れた地域の中で安全安心に暮らせるまちづくりに取り組むことが、鳥栖市を魅力あるまちとして、さらに発展させ、そして継承することに繋がります。

近年、少子高齢化や核家族化の進展、個人主義の広がりなどから、地域のつながりが薄れてきている一方で、防犯問題、子育て家庭や高齢者の孤立化など地域の課題は増えてきており、また多様化しています。これらの課題を解決するためには、行政サービスの充実だけでは対応できなくなってきており、市民、事業所、行政が共に知恵を出し合い、目標を共有し、それぞれの役割を担いながら、まちづくりを進めることが必要となっています。

本市では、各地区にまちづくり推進協議会が設立され、市民主体のまちづくりに地域全体で取り組む意識も高まってきています。この環境を活かし、地域と行政が協力して「私たちの好きなまちは私たちで作ろう」を合言葉に、地域の独自性を生かしながら市民協働による暮らしやすいまちづくりを進めます。

また、未来を担う子どもたちを家庭や学校地域で温かく育むための子育て支援や生涯を通じての「健康」をキーワードにした事業、介護予防などの高齢者福祉事業に取り組みます。

2 重点事業の概要（リープロ 11）

●リープロ 11 の名称〔3 みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト〕

「おかげさま、お互いさま」の気持ちで、市民が地域活動や市民活動に積極的に参加し、また、行政や事業者は市民協働の視点でやるべきことを考え、実行することで、それぞれの役割を果たしています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・まちづくり活動に関する情報の共有を図ります。〔市民協働推進課〕
- ・市民の声を広く聴く機会の充実を図ります。〔市民協働推進課〕
- ・地域自治組織の構築を図ります。〔市民協働推進課〕
- ・市民協働のまちづくりを進めます。〔市民協働推進課〕
- ・情報化推進計画を進めます。〔情報管理課〕

●リープロ 11 の名称〔5 未来を創る人を育てるプロジェクト〕

子育てについて、大きな不安や負担を感じることなく、安心して生み、楽しく育てる環境が整い、また、子どもたちも、明るく豊かな心で、楽しく学校に通い、意欲的に学んでいます。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・母子の健康管理への支援を行います。〔健康増進課〕
- ・救急医療体制の充実を図ります。〔健康増進課〕
- ・地域での子育て支援事業を進めます。〔こども育成課〕
- ・留守家庭児童の居場所づくりの充実を図ります。〔生涯学習課〕
- ・子育てと仕事の両立支援を行います。〔こども育成課〕
- ・幼稚園と保育所の連携を図ります。〔こども育成課〕
- ・特色のある学校づくりを進めます。〔学校教育課〕
- ・安全・安心な教育環境づくりを進めます。〔教育総務課〕
- ・学習機会の充実を図ります。〔生涯学習課〕
- ・市民協働のまちづくりを進めます。〔市民協働推進課〕

●リープロ 11 の名称〔9 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト〕

市民の健康づくりへの意識が高まり、主体的に健康づくりに取り組んでいます。また、高齢者や障害のある人が住み慣れた地域で社会参加しながら、自立した生活を送っています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・地域における健康づくりを進めます。〔健康増進課〕
- ・生活習慣病予防対策を進めます。〔健康増進課〕
- ・医療費の適正化に努めます。〔国保年金課〕
- ・介護予防を進めます。〔社会福祉課〕
- ・介護支援の充実を図ります。〔社会福祉課〕
- ・高齢者の地域における生活支援体制の充実を図ります。〔社会福祉課〕
- ・高齢者の生きがいづくりと社会参加の支援を行います。〔社会福祉課〕
- ・障害のある人の社会参加・就労の支援を行います。〔社会福祉課〕
- ・障害のある人の自立支援の充実を図ります。〔社会福祉課〕
- ・障害のある人の地域生活への支援体制の充実を図ります。〔社会福祉課〕

●リープロ 11 の名称〔10 自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト〕

性別にかかわらず、一人ひとりの違いを認め合い、お互いの個性を尊重した人々が生き生きと暮らしています。また、地域の人々と外国人が触れ合う機会が増え、異なる文化・価値観への相互理解が深まっています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・男女共同参画意識を育てます。〔市民協働推進課〕
- ・豊かで多様な生き方を支える取組を進めます。〔市民協働推進課〕
- ・男女がともに歩むまちづくりの取組を進めます。〔市民協働推進課〕
- ・多文化共生のまちづくりを進めます。〔市民協働推進課〕
- ・国際性を育む地域づくりを進めます。〔市民協働推進課〕

3 重点事業の具体的取組内容（リープロ 11）

●リープロ 11 の名称〔3 みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト〕

- ・弥生が丘まちづくり推進センター（仮称）建設事業
- ・市民活動支援事業、とす市民活動センター運営事業による市民活動の推進
- ・まちづくり推進センター運営事業

○指標

- ・とす市民活動センター利用者数 15,000人（平成27年度）
- ・市民活動ガイドブック登録団体数 100団体（平成27年度）

○平成26年度に具体的に何をしていくのか

- ・弥生が丘まちづくり推進センター（仮称）の建設を進めます。
- ・市民活動支援事業として、市民活動団体が自主的、主体的に行う公益的な事業を支援し、市民活動の活性化及び自立化を促進します。
- ・市民相互や市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の育成・支援を行う市民活動センターの運営を支援します。
- ・まちづくり推進センターの地域交流拠点としての活用を促進するとともに、センター事業の活性化を図ります。また、利用者が安心して快適に利用できるように、施設の維持管理に努めます。
- ・市民のボランティアによる道路の環境美化活動を推進するため、道路里親の新たな担い手拡充に努め、市民協働のまちづくりへの市民意識の向上を図ります。

●リープロ 11 の名称〔5 未来を創る人を育てるプロジェクト〕

- ・救急医療体制の充実
- ・子育て支援センター事業
- ・各種保育サービスの充実

○指標

- ・鳥栖市地域子育て支援センター利用者 15,000人（平成27年度）
- ・保育所待機児童数 0人（平成27年度・現状維持）
- ・休日や夜間に受診できる医療機関を知っている親の割合〔1歳6か月健診時〕
100%（平成27年度）

○平成26年度に具体的に何をしていくのか

- ・不妊治療費助成事業を開始し、安心して子供を産み育てる環境づくりを推進します。
- ・休日救急医療センターを運営するとともに、久留米広域小児救急医療センター事業に参加し、小児の救急体制を確保します。
- ・保護者の育児不安の緩和のため、子育て支援センターでの育児相談や育児講座等を行います。
- ・小中学校において、小中一貫教育と関連づけて日本語教育を中心に言語力を高める指導に取り組みます。
- ・学校給食センターの建設を進めていきます。

●リープロ11の名称〔9 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト〕

- ・うらら健康マイレージクラブの参加促進による市民の健康づくりへの意識向上
- ・健康診査、各種がん検診による早期発見、早期治療

○指標

- ・健康マイレージ制度参加者 7,000人(平成27年度)
- ・健康診査の結果がハイリスク(血圧や血糖値等が高く、生活習慣の改善や治療が必要な状態)の方への保健指導実施率 80.0%(平成27年度)

○平成26年度に具体的に何をしていくのか

- ・予防接種(高齢者向け)として、肺炎予防のため、65歳以上の高齢者に肺炎球菌ワクチン予防接種の費用助成を行います。10月からは定期予防接種として実施します。
- ・うらら健康マイレージクラブの周知と実施内容の拡充を図るとともに、児童の対象者を小学生全学年まで拡充します。
- ・特定健診の受診率の向上を図ります。また、特定健診の結果がハイリスクである方へ家庭訪問による保健指導を行い、生活習慣病の重症化予防に努めます。
- ・集団がん検診を無料とし、また、複数のがん検診を一度に受診できるようにして、受信率の向上を図ります。
- ・介護予防事業を進めます。

●リープロ11の名称〔10 自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト〕

- ・国籍や年齢、性別、障害の有無に関係なく、安全に安心して暮らせる共生社会の実現にむけての取り組みを進めます。

○指標

- ・審議会・委員会等における女性委員の比率 40%(平成27年度)
- ・語学ボランティア登録者数 25人(平成27年度)

○平成26年度に具体的に何をしていくのか

- ・男女共同参画の理解を深めるため、市民や職員を対象とした政策セミナーや講座・講演会を開催します。
- ・市内の国際交流支援団体との意見交換を行い、国際交流の指針となる計画の策定を行います。